

目次

はしがき

前編 日本の食糧と農業

——「米自由化」問題を考える——

一 日本の農業と食糧問題のいま……………19

1 米自由化——国内農業の解体と食糧確保の放棄……………19

2 日本農業——三〇年の変貌とその危機的状況……………22

3 半分を割った農産物自給率……………23

二 「米自由化キャンペン」を暴く……………27

——米問題の真の解決に近づくために——

1 米自由化キャンペン「ウソ」「まこと」……………27

2 「日本の米は外国より一〇倍も高い」か……………29

米価格の国際比較のものさし

アメリカの生産者価格との比較

タイ米を一〇倍高論の根拠にはできない

アメリカの生産費との比較

タイの生産費との比較

消費者価格はアメリカの二倍

内外価格差は米価だけの問題ではない

3 「アメリカの米はうまい」か……………45

——カリフォルニア産精米の食味——

米の食味のくらべ方

主婦たちの食味ではアメリカ米は標準価格米以下

残留農薬の問題も大きい

4 「安い価格で安定的に輸入」できるか……………50

——世界の米貿易量と国際価格の不安定性——

5 「日本の米は金がかかりすぎる」か……………54

——農産物価格形成の特異性と価格支持の必要性——

6 「食糧制度は農業過保護で金がかかりすぎるので廃止すべき」か……………59

主食の安定的供給の制度として発展

生産者・消費者双方にプラスとなる二重米価制

7	「外国にくらべて補助金が多すぎる」か —— PSEとCSE ——	62
	PSEとCSEは修正が必要 保護水準を示す指標としても欠陥が多い	
8	「自由化で五兆円の節税になる」か 五兆円という数字のいい加減さ 農家は税金を払っていないという攻撃のカラクリ	67
9	「輸入の拡大で家計支出が大幅に減る」か 消費者をいつわる夢物語の立論	67
	一人一日二七円のために日本農業を破壊してもいいか	
10	「自由化で日本農業の構造も国際的水準に高まる」か 「国際水準に高まる論」は国情を無視した議論 自由化すると日本農業は壊滅する	77
	三 アメリカの農産物貿易自由化要求	83
1	輸出不振打開策としての農産物市場開放要求 貿易摩擦の背景 世界的農産物過剰のなかでの輸出不振打開策	83

	アメリカの輸出補助制度 農業不況の解決を求めて日本市場に	
2	全米精米業者協会(RMA)の第一次提訴 一二品目、牛肉・オレンジ問題 一二品目の自由化問題	94
3	牛肉の自由化の経過と特徴 牛肉自由化の国内農業への影響 牛肉の価格は安くなるか 無視できない牛肉自由化の間接的影響 オレンジ自由化の影響の深刻さ	96
4	全米精米業者協会(RMA)の再提訴 アメリカ政府による米自由化要求	109
5	政府・財界の食糧・農業政策	112
1	基本法農政・総合農政	117
2	「経済構造調整」下の諸政策 「前川レポート」 「経済構造調整」下の農業諸政策	119

3	「今後の米政策および米管理の方向」(農政審企画部会報告)	129
4	一連の政策の基調	133
五	安全な食糧は日本の大地から	135
1	米自由化にたいする国民の意向 七割が基本食糧は国内生産を支持——総理府調査 大都市住民の食糧・農業問題に関する世論調査も同傾向 七割の人がお米は高いとは思っていない	135
2	自由化に反対し、日本の食糧と農業を守る運動の発展 米自由化反対の国民的合意と連帯の広がり 「アメリカン・トレイン」への批判運動 食糧の波・グリーンウエーブの成功	143
3	産直運動と日本の農業・食糧問題 産直運動の必然性と重要性 産直運動に消費者が期待するもの 産直にとりくむ消費者組織の運動の原則 生産者が産直運動に期待するもの 産直運動と生産者組織	148

4	産直運動の意義 文化・環境・価値基準の問題と日本農業 ——若干の補足—— 水田稲作農業と日本文化 環境保全と水田の役割 農用地・森林の環境保全機能などは三六其内に相当 生活様式・農法の転換が日本農業の未来をひらく	162
---	--	-----

後編 農業の危険性と食品残留農薬

——安全・安心な食へものために——

一	農業の危険性	179
1	食品のなかの危険な農薬	179
2	食品のなかの残留農薬の人体への影響 ヘキサクロルベンゼンをふくむ殺菌剤PCNB ダイオキシンをふくむ除草剤CNP MBCに変化する殺菌剤オファネート、ペノミル 残留基準のないポストハーベスト農薬	182

3	農業とは	189
	法の規定する農業	
	農業使用の変遷と生産量・生産額	
	日本は農業多投国	
	農業の毒性と毒性評価	
二	農業被害の実態	197
1	農業の一般毒性による被害	197
	急性毒性による世界的食品中毒事件	
	日本における農業による死亡・中毒障害の実態	
	農業被害訴訟	
2	農業の特殊毒性によると思われる被害例	209
	ヴェトナム「枯葉作戦」の影響ほか	
	餌づけ猿の奇形	
三	農業残留と輸入食糧の危険性	217
1	残留農業の環境汚染と生物濃縮残留	217
	全国に広がる残留農業の環境汚染	
	パラコート剤	

2	残留農業の生物濃縮	224
	農業の食品残留	
	肉類・牛乳・魚介類の食品残留	
	野菜類の食品残留	
3	輸入食品の農業残留事例と問題点	231
	日本で禁止された農業の残留	
	輸入小麦に高濃度の有機リン系殺虫剤 多い臭素含有量	
	アメリカ産ジャガイモに多量の除草剤	
	ポストハーベスト規制の立ちおくれ	
	輸入レモンから発ガン性カビ防止剤と枯葉剤	
	輸入柑橘類に発ガン物質EDB	
	輸入牛肉に発ガン性農薬やホルモン剤・抗生物質	
	日本で使われたことのない農薬の残留	
	別々な輸入食品の検査・監視体制	
四	農業規制の強化・充実の方向	253
1	農業取締法およびその運用の改善	253

2	農業取締法の使用安全基準の見直し	257
3	食品衛生法による農業残留基準の改善・強化・充実	259

2	残留農業の生物濃縮 農業の食品残留	224
	肉類・牛乳・魚介類の食品残留 野菜類の食品残留	
3	輸入食品の農業残留事例と問題点 日本で禁止された農業の残留 輸入小麦に高濃度の有機リン系殺虫剤 多い臭素含有量 アメリカ産ジャガイモに多量の除草剤 ポストハーベスト規制の立ちおくれ 輸入レモンから発ガン性カビ防止剤と枯葉剤 輸入柑橘類に発ガン物質EDB 輸入牛肉に発ガン性農薬やホルモン剤・抗生物質 日本で使われたことのない濃染の残留 別々な輸入食品の検査・監視体制	231
四	農業規制の強化・充実の方向	
1	農業取締法およびその運用の改善	253
		253